

(1月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
みかん類		15,641	95	16,014	235	79	217	-	-	静岡、愛媛、熊本産などが出回る。本年産は基本的に表年。秋期の気温高と降雨により傷みがやや多いが、裏作だった前年を上回る見込み。価格は基調高であるが前年比安の展開。
いちご類		4,280	105	4,225	1,127	101	1,201	-	-	栃木産を中心に福岡、静岡産が出回る。1月は各産地とも2番果房の収穫時期となる。月通じて平準入荷が見込まれる。価格も前年並の予想だが、みかん類も順調は入荷が見込まれる中、いちご類の引き合いは平年並～弱まる可能性もあり、価格は前年並～やや安めに落ち着く見込み。
ほしがき		523	95	512	1,317	95	1,250	8	1.5	福島産(約4割)、長野産(約5割)、のほか山梨産、山形産、中国産などが出回る。原料柿の生産量は前年を下回るが正品率が高いことから、入荷量は前年並の見込み。年末年始の需要も落ち着き、価格は前年並～軟調の見込み。
キーウイ		628	95	566	299	97	334	4	0.6	愛媛、福岡産を中心とした国産品が主力となる。玉伸びは前年より小さく、全般的に小玉傾向。市況に応じた出荷になるが、ペースは前年より若干早めの見通し。価格は小玉果比率が高いことから弱めの見通し。